

# InvestHK

---

## 資産運用・ウェルスマネジメントの主要なハブ

香港政府がファミリーオフィスと資産運用のエコシステムを強化するための一連の政策を発表

アジア随一のビジネスハブである香港は、グローバルなファミリーオフィス設立の最有力候補地として選ばれています。世界トップクラスの金融インフラ、中国本土とつながる多様で効率的な資本市場、広範なグローバルネットワーク、低率で簡素な税制や豊富な投資商品など、香港独特の優位性が世界中の富裕層やファミリーオフィスを惹きつけています。2021年の香港の資産運用残高は、35.5兆香港ドル（約4.6兆米ドル）に達しました。

## ファミリーオフィス業界に広がる無限の商機

ファミリーオフィス事業は目覚ましい急成長を遂げており、資産運用・ウェルスマネジメント業界の中でも重要な成長分野となっています。香港政府は、この大きな可能性を認識し、戦略的優先事項としてファミリーオフィスを香港へ誘致するための包括的な施策を導入しました。

2023-24年度予算では、ファミリーオフィスの誘致を強化するため、今後3年間で1億香港ドルを追加計上しました。インベスト香港は、中国本土、中東、ヨーロッパ、東南アジアなどの戦略的市場をターゲットに、有望な香港市場でのさらなるファミリーオフィス設立・展開を促進していきます。

今年5月に立法会で可決された法案により、香港のシングルファミリーオフィス（SFO）が経営する同族投資持株会社（FIHV）は、事業所得税の優遇措置を受けられるようになりました。こうした有利な政策は、世界中のファミリーオフィスが香港で繁栄する環境を整備し、新たな商機を切り開きます。

3月24日、香港政府主催の記念イベント「Wealth for Good in Hong Kong」が開催され、世界中のファミリーオフィスとそのプロフェッショナルチームから100人を超える経営幹部が参加しました。同日、政府は「香港におけるファミリーオフィス事業の発展に関する政策声明」を発表し、香港でのファミリーオフィスの設立を支援する包括的な計画を打ち出しました。

## 政策声明の主な要点

1. 資本投資者入境計画 (Capital Investment Entrant Scheme : CIES) の新設
2. 税制優遇措置の実施
3. 市場円滑化措置の実施
4. Hong Kong Academy for Wealth Legacy の設立
5. 香港国際空港の美術品保管施設の整備を推進
6. 慈善活動（フィランソロピー）の中心地として香港を発展
7. インベスト香港のファミリーオフィス専門チームの役割の拡大
8. ファミリーオフィス・サービスプロバイダーネットワークの立ち上げ

## インベスト香港のグローバルファミリーオフィス専門チーム

インベスト香港のファミリーオフィス専門チームは、香港、中国本土とヨーロッパに専門スタッフを配置し、香港でのファミリーオフィス設立の具体的なニーズにワンストップで対応する総合サービスを提供しています。ファミリーオフィス業界における香港の優位性を紹介するだけでなく、資産家の慈善活動の促進や教育関連のサポートなど、重要な役割を果たします。

香港は、ハードとソフト両面の強みを活用し、ファミリーオフィスのエコシステムの強化に取り組んでいます。社会経済の発展に貢献し、資産運用・ウェルスマネジメント業界をさらに活性化するでしょう。

## ファミリーオフィス・サービスプロバイダーネットワークの発足

6月12日に発足したネットワークには、プライベートバンカー、管財人、弁護士、会計士、ウェルスマネジメントの専門家など、専門サービス業の代表者100人以上が参加しています。このネットワークは、政府と業界のサービスプロバイダーがコミュニケーションするための双方向チャンネルの構築を目的とし、政府が香港のファミリーオフィスの最新動向や商機を業界関係者に紹介するとともに、グローバルネットワークを活用して香港の商機を広めます。

詳細はこちらをご覧ください（英語）：

「香港におけるファミリーオフィス事業の発展に関する政策声明」



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

## 国際イベント・スケジュール

7月4～5日 香港

### Asia Pacific (APAC) Domain Name System (DNS) Forum 2023

本フォーラムは、地域の DNS コミュニティがネットワークを構築し、意見交換し、ドメイン名業界に関する協業の機会を模索するためのプラットフォームを提供します。インベスト香港はイベントのスポンサーとして出展します。

場所： *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催： *Internet Corporation for Assigned Names and Numbers*

▪ [apacdnsforum.asia](http://apacdnsforum.asia)

7月13日～14日 香港

### Belt and Road Summit

本年次イベントでは、「一帯一路」沿線諸国およびその先の国や地域から政府高官やビジネスリーダーが集まり、多国間協力に関する見識を交換し、商機を探ります。

場所： *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催： *香港特別行政区政府および香港貿易發展局*

▪ [beltandroadsummit.hk](http://beltandroadsummit.hk)

7月14日 日本

### 海外ビジネス EXPO 2023 福岡

海外ビジネスをテーマに開催される日本最大級の海外ビジネス EXPO。東京、大阪、福岡、札幌で毎年開催されています。インベスト香港も出展します。

場所： *福岡国際会議場*

主催： *海外ビジネス EXPO 実行委員会*

▪ [digima-japan.com/expo/fukuoka2023](http://digima-japan.com/expo/fukuoka2023)

最新イベント情報は、[investhk.gov.hk](http://investhk.gov.hk) をご覧ください。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

特集：

## 香港に新規進出した海外企業および中国本土企業の歓迎レセプション

香港特別行政区の李家超（ジョン・リー）行政長官は、6月15日、インベスト香港主催のレセプションにて、中国本土および海外企業の方々を400名以上迎え、香港のビジネス環境に対し、持続的な信頼を寄せていただいていることに感謝するとともに、今後、世界各地で事業拡大する際には、国際都市 香港の優位性の活用を呼びかけました。

李氏は次のように述べました。「『一国二制度』の原則の下、香港は中国の強力な支援と世界との緊密なつながりという際立った優位性を持っています。香港はまさに、中国と世界の優位性の両方を併せ持つ世界で唯一の都市です。中央政府の全面的な支援に加え、第14次五ヵ年計画、広東・香港・マカオ大湾区発展計画、一帯一路構想など国家戦略の下での豊富な商機により、香港は投資家にとって事業を立ち上げ、拡大するのに最適な場所です」

香港投資推進局（インベスト香港） 蔣学禮（ジミー・チャン）局長代行は新規進出企業を歓迎するにあたり「香港企業そして香港でご活躍の中国本土および海外外国企業にとって、今こそエキサイティングな時期です。香港投資推進局（インベスト香港）の使命は、皆様が次々と生じる商機を捉えて事業を発展させるお手伝いをすることです。そのため、私たちは、政府全体や主要パートナーと緊密に連携・協力し、またチーム編成を政府の政策優先事項と一致させています。これにより、皆様のさらなる発展を効果的に支援しています」と、話しました。

同レセプションに出席した400名を超える様々な業界のゲストは、過去3年間に香港でのビジネス立ち上げ、インベスト香港が支援した企業の皆様です。



中華人民共和國香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局



特集：

## 越境コラボレーションでフィンテックの発展を促進

5月24日～25日、インベスト香港は、香港の金融業界の専門家約20名の代表団を率いて深圳を訪れ、広東・香港・マカオ大湾区研究院（Academy of Hong Kong-Macao-Guangdong Greater Bay Area）が主催する2023年広東・香港・マカオ大湾区金融フォーラムに参加しました。香港と深圳の金融機関のリーダーらは、データ技術分野の越境コラボレーションについてその大きな可能性を模索し、大湾区内のデジタル技術の進化を加速させる効果的な戦略を合同で策定しました。インベスト香港の代表団は、2日間の日程で、深圳金融協会を訪問し、深圳国際フィンテックコンペに参加したほか、地元のフィンテック企業と共に越境ビジネスの様々な可能性を探りました。

### WIN-WIN パートナーシップの構築

同フォーラムでは、インベスト香港の金融サービス・フィンテック部 部長 梁瀚璟（キング・リョン）が、香港で好況なフィンテック業界の最新動向を紹介しました。また、香港と深圳のデータ技術分野における連携強化が期待できると語りました。梁氏は、越境コラボレーションを促進するイニシアティブを紹介し、フィンテック分野で強い競争力と成長力のある企業を2年に1度表彰する「Top 20 Greater Bay Area FinTech Flying Fish Enterprises」や、2019年の導入以来2,000人以上のフィンテック専門家を認定し、大成功を収めた「Shenzhen-Hong Kong-Macao FinTech Professional Programme」などを取り上げました。

梁氏は、香港のデータ技術産業に大きな成長機会をもたらす4大分野としてフィンテック、AI・ビッグデータ、バイオテクノロジー、先進製造業を挙げました。香港は、これらの分野をテコに、新興技術を活用し、データ技術分野のイノベーションを創出することができます。今後、香港と深圳は、本人確認、信用調査、ビッグデータというデータ共有の3つの主要分野で新たなパートナーシップを築くことができるでしょう。両都市の企業は、既存のルールや規制を遵守しながらこうしたデータを共有するための戦略を共同で模索していくでしょう。

羅湖区金融サービス署の黄拓（Huang Tuo）署長は、羅湖区が深圳の重要な金融センターであることを強調しました。デジタル人民元の試験運用地域となっている同区は、デジタル人民元に注力するフィンテック企業を支援しています。香港は、その強固な金融の強みを活かして深圳との連携を深めることができます。深圳も、国際金融ハブとしての香港の地位向上に協力しています。例えば、大湾区全体の金融業の発展の促進、データの越境移転の円滑化、中国本土のフィンテック企業による香港経由のグローバル展開などが挙げられます。

### デジタル資産の成長を後押し

梁氏によると、香港政府は規制当局や業界リーダーと緊密に連携し、香港のフィンテックエコシステムの強化を目指しており、最近もWeb3の発展に向けた一連の支援策を発表しています。香港証券先物委員会（SFC）は6月1日、暗号資産取引プラットフォームに対する新たなライセンス制度を導入しました。暗号資産などの取引を管理する透明性の高い規制とガイドラインを導入するもので、この分野の継続的な成長を支援し、イノベーションを



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

促進したい政府の強いコミットメントを示しています。さらに、2023-24 年度予算では、Web3 エコシステムの発展を強化するため、サイバーポートに 5,000 万香港ドルを追加計上しています。

強固なフィンテックエコシステムを持つ香港は、800 社を超えるフィンテックの大企業、中堅企業、スタートアップ企業の拠点となっています。中国本土とグローバル市場を結ぶゲートウェイとしての地位を活かし、深圳とインパクトのある協力関係を築く態勢が整っています。香港は、域内外のフィンテック企業を発展させ、アジアの次世代のフィンテックイノベーションをリードしていくでしょう。

**連絡先：**

キング・リョン (King Leung)

金融サービス・フィンテック部 部長

☎ (852) 3107 1058

✉ [kingleung@investhk.gov.hk](mailto:kingleung@investhk.gov.hk)

